

## 平和行進、「歩いて繋ぐ」が9地域に増加

### ——スタンディング・小集会を宣伝カーで繋いだ地域も参加者増加、

今年2022年の国民平和行進は、7/1に新潟県から引き継がれ、奥信濃栄村から、北安曇小谷村から、木曾谷から、下伊那最南端天龍村・売木村から、佐久地区野辺山高原からなど、県内各地を網の目で繋いで、7/8群馬へ、7/13山梨へ繋ぎ終了しました。コロナ禍のなかですが、今年は歩いて繋ぐ地域は、コースの一部も含めて9地域に増えました。歩けなかった地域もスタンディングや小集会を宣伝カーで繋ぐなど工夫した取り組みが行われました。

○地域内全コースほぼ歩いた地域：4地域→→信濃町、更埴地区、上小地区、上伊那地区、

○コースの一部を歩きそれを宣伝カーで繋いだ地域：5地域

中野市、小谷・白馬地域、南安曇地区、飯伊地区、諏訪岡谷地区、

○歩けなかった地域もスタンディングや小集会などへの参加も増加 (詳しい集約は今後)

### 迫る核使用危機、核禁条約締約国会議・NPT再検討会議など重要な情勢の中で

今年は、ロシア・プーチン政権による「核使用の威嚇」が行われ核使用・核戦争の危機が迫っているなかでの平和行進、一方、66カ国批准となった核兵器禁止条約の締約国会議が6/21～6/23にオーストリアのウィーンで開かれ、核兵器廃絶への決意のこもった「ウィーン宣言」が出され、それも受けて8月には、NPT再検討会議がニューヨークで開催されるという重要な情勢の中で行われました。

世界大会の成功に向けて、平和行進を繋ぎ、核兵器使わない、核戦争阻止、核兵器禁止・廃絶の声と運動を結集しようという決意が、参加者から、また自治体関係者からも語られました。

### 原水禁系「非核平和行進」との相互乗り入れ「共同」が5年目となりました

原水禁系の非核平和行進との「相互乗り入れ参加」方式の「共同」は、2018年に始まり今年5年目です。お互いにコロナ禍での行進制限のなかでも、集会での挨拶交換が行われました。

6/8に一部行進した原水禁系の非核平和行進に、私たち網の目平和行進実行委員会から細尾代表委員(県労連議長)が連帯挨拶し、行進にも私たち網の目平和行進から8人が一緒に参加しました。

その返礼として、7月5日の私たち網の目平和行進の県庁前出発集会に、非核平和行進から松沢代表委員(労組会議議長)が連帯挨拶しました。



\*左写真は、6/8 原水禁系の非核平和行進の長野市役所前の集会に参加した原水協系の網の目行進の仲間。この後、小雨の中、長野駅まで、原水禁の皆さんと行進しました。

\*上写真は、7/5 県庁前の行進出発集会で挨拶する代表委員の県教組清水委員長。非核平和行進の横断幕(左)と、網の目平和行進の横断幕(右)が並んでいます。

### 北海道～東北日本海側コース、7/1 新潟から引き継ぎ、

7/1(金)に新潟県との県境の関川関所跡歴史館駐車場で、新潟県との引き継ぎ集会、新潟県側20人、長野県側15人の参加。長野県で最初の行進となる信濃町実行委員会委員長の荒井賢蔵さんは「ロシアの暴挙を止め、核兵器をなくすため、元気に行進します」と決意表明しました。

(群馬・山梨引き継ぎと各地のとりくみは裏面、2ページ目)

## 長野県内2週間にわたる網の目行進、7/8群馬県へ、7/13山梨県へ引き継ぎ

7/8(金)には、群馬県境の軽井沢碓氷峠で群馬県と引き継ぎ集会、長野県側から20人、群馬県側から30人余の参加でした。群馬県側からは「長野県から引き継がれた思いを繋いで歩きます」と決意が語られました。7/13(水)には、県境近くの富士見葛木宿道の駅で、山梨県に引き継ぎました。長野県側は、富士見実行委員会と県から10数人、山梨県側は40人程の参加でした。山梨県からは、県内通し行進者が決意を語りました。



7/8碓氷峠で群馬に引き継ぎ



7/13葛木宿道の駅で山梨へ引き継ぎ

### 各地の取り組み\*中間集約でまだ全体は集約中です。一部地域の報告になります\*

- 信濃町**：新潟から引き継いで翌日7/2、信濃町町長から挨拶を受けて、役場から隣町の飯縄町まで2時間余20人余で行進。
- 北信網の目コース・中高地区**：7/3に地域内の各ポイントでスタンディング、それを繋ぐ宣伝カー宣伝、行進は中野市中心街20分ほど大雨の中10数人で行進、市役所前集会では20数人参加、市長・議長代理からの挨拶、小布施町役場へは宣伝カーで繋ぐ(小布施役場前20数人参加)延べ参加者60人。
- 長野市・4日長野市入り**：7/4、山間部(中条・小川・鬼無里・戸隠)も含めて宣伝カー宣伝、市役所で市長代理からの挨拶受け、中心街トイゴ前で、30人程でスタンディング宣伝
- 5日県庁前出発集会**：7/5、知事代理の国際課長あいさつと県議会議長メッセージを受けて、原水禁系の非核平和行進より3人参加、松沢代表委員より連帯挨拶。実行委員会を代表しての県教組委員長、県労連細尾議長、県原水協丸山事務局長の挨拶の後、宣伝カーで千曲市へ出発、参加40人ほど
- 長野—千曲コース**：川中島、篠ノ井、松代地区のスタンディングポイントを宣伝カーで繋ぐ。3箇所延べ参加者30人程、千曲市役所前で引き継ぎ集会、20数人参加
- 小谷・白馬地区**：7/5、小谷役場前集会23人参加、南小谷駅まで行進、白馬村役場前集会33人白馬村役場からウイング21まで行進、「平和行進が出来る喜びを噛みしめています」
- 南安曇地区**：7/7、安曇野市役所～国道まで20分ほど行進
- 更埴**：7/6、千曲市役所～上田駅的全コース行進、上田へ20人行進、受け入れ上田が30人で出迎え
- 上小地区**：7/7、上田駅～小諸、丸子～大屋的全コース行進 参加延べ数70人程
- 佐久地区**：7/7、7箇所以上のスタンディングや小集会を繋いで宣伝カーで宣伝行動。8日には、小諸、御代田、軽井沢を宣伝カーで繋いで碓氷峠に到着、群馬へ引き継ぐ。
- 下伊那地区**：7/2、高森—松川15分ほど行進、松川町内15分ほど行進、延べ30人程参加
- 上伊那地区**：7/8、中川村、長谷村～伊那市、7/9、伊那市～辰野(幹線コース合流)、川岸(諏訪へ引き継ぎ)の全コース行進、延べ参加数250人ほど
- 諏訪岡谷地区**：岡谷市、下諏訪町・諏訪市、茅野市、原村、富士見町の各市町村の市街地を一部歩いて、その間を宣伝カーで繋ぐ方式で取り組み、山梨への引き継ぎ地へは歩きながら到着